

# 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月9日(木)  
学 級 1年C組(男子14名・女子13名)  
場 所 岩手町立沼宮内中学校1年C組教室  
授業者 菊池文彦

1 単元名 古典との出会い  
教材 今に生きる言葉 (光村図書 国語1)

## 2 単元の目標

- (1) 漢文の内容や表現に興味を持って読み、教え合いを通して故事成語への理解を深めようとしている。
- (2) 「矛盾」の故事を理解し、書き下し文を正確に音読することができる。
- (3) 故事成語の意味・由来を調べ、教え合いを通して、自分で用例を考えることで、故事成語について理解を深めることができる。

## 3 単元について

学習指導要領「指導計画の作成と内容の取り扱い」の中に「古典としての古文や漢文を理解する基礎を養い古典に親しむ態度を育てるとともに、我が国の文化や伝統について関心を深めるようにすること」と書いてあることから、古典への興味関心を持たせることが目的の一つとなっている。

本単元は、「古典の文章に出会い、昔の人の物の見方や考え方に触れ、現代とのつながりを考える。」ことを目標としている。前教材の「竹取物語」では、仮名遣いの違いや古文独特の言い回し、内容理解など基本的な事柄を学習してきた。初めて古典の言葉や文章に触れる1年生にとっては、聞いたことがある文章であるとともに、リズムカルな文体で、展開も明確であることから、楽しく学習できた。

今回の「今に生きる言葉」でも、楽しい出会いを中心に、漢文の基本的な事柄を学びながら、できるだけ多くの名句・名言や故事成語に触れ合うことをしていきたい。

また、よく使われる故事成語の由来を調べたり用例を考えたりする発展的な活動を通して、言葉への興味・関心を高めながら、現代の生活の中に生きている古典のおもしろさを気付かせていきたい。

## 4 生徒の実態

平成19年度の学力調査結果から「国語への関心・意欲・態度」は、1年生79.6%と非常に高いものとなっているが、「読むこと」「言語についての知識・理解・技能」については、全国を下回っている。

このことは1年C組でも同様に見られ、授業にほとんどの生徒が前向きに集中して取り組んでいるのだが、発表する生徒の固定化、自分の考えをまとめる力が不足していると思われる。

また、グループでの学習においても、積極的に学習をしようとはするのだが、他人任せ的部分も見られ、リーダーに発表を頼りきりになることが多い。

これはやはり国語の表現に重点を置いた指導が不十分であったことや、身につけた言語能力を生かす方法や場面の設定の工夫が不足していたためであると考えられる。これらのことから、身に付けた言語事項を生かし、自己の考えを明確に表現したり、相手の考えを的確に理解したりすることにより課題を解決し、望ましい人間関係を築いたり、自分を高めたりしていく力を育成していく必要があると考える。

5 本題材における「教え合い学び合い活動」について

展開において、故事成語の意味、由来等を調べることで、そしてグループでどのように伝えれば理解してもらえるかを話し合うこと、また終盤では自ら故事成語を選び、用例を作り上げ、適切かどうかの確認を隣同士で行うことを設定している。

6 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

故事成語に関心を持ち、調べ作業・発表を通して理解を深めようとしている。

(2) 読む能力

漢文特有の言い回しに注意しながら、「矛盾」の書き下し文を正確に音読している。

(3) 言語に関する知識・理解・技能

意味・由来・用例などについて調べたり考えたりしたことの交流を通して、故事成語についての理解を深めている。

7 指導計画における評価規準と評価方法

単元	学習項目	時数	評価規準	評価方法	
古典との出会い	① いろは歌	1 h	・ 興味関心 ・ 読む能力	音読 ワークシート	
	竹取物語	①全文通読 ・ 竹取物語について ・ 感想（疑問等）	1 h	・ 興味関心	観察 ワークシート
		②古文の読みになれる ・ 原文の音読 ・ 仮名遣い、語句の意味 ・ 現代語訳との対応 ・ 帝の心情の理解 ・ 登場人物の心情の理解	3 h	・ 読む能力 ・ 言語に関する知識・理解・技能	音読 観察 ワークシート
		③テーマ別調べ学習	3 h	・ 興味関心 ・ 読む能力 ・ 言語に関する知己・理解・技能	観察 ワークシート
		④発表	1 h	・ 話す、聞く能力	観察 ワークシート
	今に生きる言葉	①故事成語について ・ 「矛盾」の書き下し文の音読 ・ 原文の視写	1 h	・ 興味関心 ・ 読む能力 ・ 言語に関する知識・理解・技能 ・ 書く能力	音読 ワークシート 観察
		②「矛盾」の内容把握	1 h	・ 言語に関する知識・理解・技能	音読 ワークシート
		③調べ学習 ・ 便覧、辞典等を使って調べ、発表する。	本時 3 / 3	・ 言語に関する知識・理解・技能 ・ 書く能力 ・ 話す、聞く能力	音読 ワークシート 観察

## 8 指導の評価と展開

### (1) 本時の目標

故事成語に関心を持ち、調べ学習を通して、その意味・由来・用例などについて理解を深めることができる。

### (2) 本時の具体的評価規準

	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
国語への関心・意欲・態度	<p>漢文の内容や表現に興味関心を持ち、進んで音読したり内容への理解を深めたりしようとする。</p> <p>故事成語に関心を持ち、調べ学習を進んで取り組んだり、発表の内容を聞いて理解を深めたりすることができる。</p>	<p>漢文の内容や表現に興味関心を持ち、古典の基本的事項を理解しようとする。</p> <p>故事成語に関心を持ち、調べ学習、発表を理解しようとする。</p>	<p>グループ学習の際の声をかけ、自己評価シートに伸びをコメントしたりする。</p> <p>小テストを繰り返し、少しずつでも得点が伸びるようにする。</p>
読む能力	<p>漢文特有の言い回しに注意しながら、「矛盾」の書き下し文を正確に音読している。</p> <p>書き下し文から、「矛盾」の故事と意味を理解している。</p>	<p>漢文特有の言い回しに注意しながら、「矛盾」の書き下し文の音読、故事の意味と基本的事項を理解している。</p>	<p>様々な形態で音読・朗読することで、漢文特有の言い回しに慣れ親しむようにする。</p> <p>言葉の調子や間の取り方に注意して音読するようにする。</p>
言語についての知識・理解・技能	<p>意味・由来・用例などについて調べたり考えたりしたことの交流を通して、故事成語についての理解を深めている。</p>	<p>意味・由来・用例などを調べることで、故事成語についての基本的内容を理解している。</p>	<p>「何を」「どのように」調べ、伝えるかを的確に教え合えるようにする。</p>

(3) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	教師の指導・支援	評価・備考
導入	1. 「矛盾」の書き下し文の音読 2. 本時の目標確認	1. 「矛盾」の音読をする。 2. 本時の目標を確認する。	1. 1, 2人に指名し音読させる。その後全員で音読させる。	1. 内容を思い浮かべながら音読しているか(読む能力)
自分たちで調べた内容をみんなで教え合い、理解を深めよう！				
展開	3. 教え合い学習	3. 各班で調べた内容を班毎に教え合う。 事前に班毎に調べた故事成語を班から一人、他の班に出向いて教える。 ・1班の代表者が2班に行き、調べた故事成語の読み方・由来を教える。 そして、2班の生徒に意味を予想してもらい、解答を説明し、質疑応答に移る。 1班の説明が終了したら、2班の代表者が1班に教えに行く。 (説明時間は1班5分程度) ・全部の班に、担当の説明者が行き、説明を繰り返す。	3. 事前の調べ学習で班員の誰もが、調べた故事成語について理解し、説明できるように、しっかりと調べ、まとめさせる。 ・調べた故事成語について班員全員が、同じように説明できるようにさせる。 ・教えられている班員は、聞きながら、メモを取り、理解できない点を質問できるように、また説明者の評価をさせる。 ・故事成語の読み方・由来を聞いて、意味を予測できるようにする。	3. 調べた故事成語についてしっかりと理解しながら、発表しているか (興味関心) ・発表内容をしっかりと聞いて、故事成語について理解を深められたか (言語)
	4. 用例作り	4. 個人で気に入った故事成語を選び、それを使った短文を創り上げる。	4. 用例が適切であるように指導する。	・意味・由来・用例などについて調べたり考えたりしたこととの交流を通して、故事成語についての理解を深めているか(言語)
		・正しい用例になっているか、どうか隣同士で確認する。 ・選んだ故事成語の用例を発表する。	・隣同士で的確にアドバイスできるようにさせる。 ・みんなの前で、大きな声で発表できるようにさせる。	
終末	5. 自己評価カード	カードに記入させる。		

《 評価 》

1. 内容を思い浮かべながら音読しているか？ (読む能力)
2. 調べた故事成語についてしっかりと理解しながら、発表しているか？ (興味関心)
3. 発表内容をしっかりと聞いて、故事成語について理解を深められたか？ (言語)
4. 意味・由来・用例について調べたこととの交流を通して、故事成語についての理解を深めている。 (言語)